

直営の登録博物館の設置を求める請願

令和7年2月21日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市本町二丁目1番10号
青森まちかど歴史の庵「奏海」の会
会長 相馬 信吉

紹介議員 小熊 ひと美
蛭名 和子

(請願の趣旨)

青森市の歴史は、1625年(寛永2年)に森山弥七郎が青森開港を行ったときから始まったと言われ、今年で開港400年目を迎える。

しかし、青森市には400年の歴史や文化を伝える博物館がないが、弘前市や八戸市には立派な登録博物館が設置され、子どもたちに自分たちの歴史や文化を伝え続けている。

自分たちの生まれた町に、誇りや自信を持つためにも、その歴史や文化を知ることが大切である。

青森市は、明治以後、北海道開拓や北方への物流の拠点として、急速に発展を遂げ、全国初の公営バス運行計画や水道敷設計画、発電所建設計画など次々と全国に先駆けた事業に取り組みされた歴史がある。また、縄文時代からの様々な文化財や歴史的文物の保管・管理、さらには調査研究・展示なども行う必要があると思う。

現在、青森市には、博物館類似施設として青森市中世の館、あおもり北のまほろば歴史館、青森市小牧野遺跡保護センター、青森市民美術展示館、青森市森林博物館が設置されているが、あくまでも類似施設であり、博物館法で定める施設の基準、専門的知識または識見を有する施設の長、学芸員資格を有し、文化財の取り扱いに習熟した専任の職員が2名以上配置されていることなどの条件を満たした博物館ではなく、全国県都で唯一登録博物館のない市である。

そこで、400年の歴史や文化を語り、展示・研究し、将来の青森市を担う子どもたちが、青森市の歴史や文化を学ぶことのできる、直営の登録博物館の設置をお願いするものである。

(請願事項)

県都青森市に、直営の登録博物館を設置すること。